

日本文紙MESSE大賞

グランプリに
シヤチハタ「ケズリ
キャップ富士山」

6950人が来場

文紙MESSE
多彩な企画で盛り上がる

文紙MESSE協議会（一般社団法人大阪文具工業連盟、大阪紙製品工業会、中部文具工業協同組合）は、8月5、6日、大阪市中央区のマイドームおおさかで、先人から脈々と続く文具紙製品の文化と歴史を大切に進化させたいと「脈（ミヤク）」をテーマに「文紙MESSE2025」を開催した。7月1日から8月31日までではホームページ上でWEB開催している。初日に行われたオープニングセレモニーは大阪ジュニアバンドによる演奏とパトントワリングで始まり、主催者を代表して、黒田章裕代表幹事（大阪紙製品工業会会長）が「2010年に文紙MESSEをスタート、今年で15年目となる。当初は業界関係者の商談会としていたが、時代の変遷と共に一般ユーザーにも公開するようになった。デジタルの進展などでビジネスのあり方も変革しており、商品やサービスの魅力や価値を伝えることが重要となっている。文紙MESSEにおいてもWEBでの情報発信を強化し、来場者は7000人前後と安定している。回を重ねることに来場者の満足度を高めるイベントへと変容を遂げていきたい」と挨拶。



開会挨拶する黒田代表幹事



黒板アートライブの模様

会場は1階がショッピンゾーン、2〜3階が出展フロアで構成。出展社数62社、小間数172小間、ショッピンゾーン22社の規模で展開。今回は大阪万博開催中とあつて、インバウンド客へも対応し、ホームページには5カ国語の翻訳ソフトを導入すると共に、通訳配置や英語版アンケート用紙も用意。加えて、ショッピンゾーンのキャッシュレス化にも対応した。新企画イベントでは、好文学園女子高等学校美術部（大阪市）の「黒板アートライブ」を1階会場入り口で行い、2日間かけて大作を完成。文具エキスポパートと出展社による特別企画イベント「ぶんぐの匠」での初参加のキッドブレナール



審査委員講評を、文房具ソムリエ・石津大氏が「若い人が活躍し、飛躍を遂げる業界としていきたい」、西村貞一代表幹事（一般社団法人大阪文具工業連盟理事長）は「見て触って使っていたら、消費者との双方向コミュニケーションから開発につながってほしい」と述べ、続いて閉会式に移り、

ボの子どもたちによる「未来の文房具アイデア」発表も行われた。恒例のイベントでは、全出展社参加のスタンブラリー、大阪市消防局の起震車体験や、大阪市立図書館とのコラボイベントも継続開催。6日午後4時から1階会場ステージで、「日本文紙MESSE大賞2025」の表彰式が行われ、塚田征司マーケティング委員長の司会進行で、受賞商品の発表（別表）に移り、グランプリ（大阪府知事賞）にシヤチハタ「ケズリキャップ富士山」が輝いた。



舟橋正剛幹事（中部文具工業協同組合理事長）が「来年もレベラアップ、パワーアップしたメッセを作り上げていきたい」と挨拶、水谷豊実行委員長の大阪締め



日本文紙MESSE大賞 2025 の受賞者ら

日本文紙MESSE大賞2025

日本文紙MESSE大賞2025			社 名	商 品 名
グランプリ		大阪府知事賞	シヤチハタ株式会社	ケズリキャップ 富士山
機能性部門	最優秀賞	大阪府ものづくり振興協会会長賞	株式会社サクラクレパス	おかたづけシリーズ こまごまファイル A4サイズ
	優秀賞	文紙MESSE協議会賞	オルファ株式会社	パッセルS
	優秀賞	文紙MESSE協議会賞	クツワ株式会社	コンブンカット
デザイン性部門	最優秀賞	大阪デザインセンター理事長賞	株式会社サクラクレパス	ボールサイン ティアラノック
	優秀賞	文紙MESSE協議会賞	クツワ株式会社	プニユスパイラル
	優秀賞	文紙MESSE協議会賞	株式会社墨運堂	墨細工 にくきゅうずみ

「共生」をテーマに
「ジャポニカ学習帳」
写真からイラストに刷新

ショウワノート



ショウワノート株式会社（小沼昌毅社長、東京都）は、子どもたちを取り巻く環境の変化に対応して、基幹ブランド商品「ジャポニカ学習帳」を大幅にリニューアル、約40年間親しまれてきた写真の表紙を、「共生」

をテーマにした親しみの湧くイラストへ刷新、次代を担う子どもたちの学びと成長に寄り添う「ジャポニカ学習帳（共生編）」として11月より発売する。

ジャポニカ学習帳は当時ステータスだった百科事典

の写真や世界中のさまざまな情報を表紙や読み物付録に採用し、1970年からほかの学習帳にない特徴を持った学習帳としてスタート、55年間の累計販売数は14億冊を超える。今回のリニューアルは、単なるデザイン変更ではなく、子どもたちを取り巻く環境が変化し、詰め込み教育から発想を育む教育へと移行する現在において、子どもたちの学びをサポートするために進化させた。

1978年より採用していた写真家・山口進氏の生

涯の撮影テーマ「共生」の考え方を受け継ぎ、アートディレクション・デザインには、ハッピーなデザインを得意とし、仕事と子育てをクロスオーバーさせるスタイルを実践するデザインチームminnaを起用。イラストは「パンダ銭湯」や「しろくまのパンツ」などでも知られる人気絵本作家のtupera tuperaが全39種を描き下ろした。

表紙のイラストは、自然界の動植物が共生するよう暮らし、多様な人々が調和して暮らすことの大切さを表現。子どもたちは動植物の

多様性に触れ、自然への興味や関心を深めることもできる。また、動植物を擬人化する事でストーリー性をもち、子どもたちの好奇心を、層刺激するデザインとなっている。ロゴデザインも今までのジャポニカ学習帳のロゴのバランスは踏襲しつつ、生きものらしい有機的な曲線や生命感を感じるディテールをまとうことで、イラストとも親和性のあるポップなデザインに生まれ変わった。

heart www.heart-group.co.jp

人から人へ心を伝える ハート紙製品

ハート株式会社

名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー・環境対応製品

線を選び、輝きを纏う

PIGMA®—進化するDNA

Crimson Red

「ピグマ」「PIGMA」は株式会社サクラクレパスの登録商標です。

COLORING the FUTURE

PIGMA® HOLDER

ピグマ®ホルダー

線を選び、輝きを纏う

PIGMA®—進化するDNA

1 好みの軸色の PIGMA® HOLDER を選ぶ

2 好みのペン先の PIGMA® を選ぶ

Point. 低重心で疲れにくく、安定した操作性を実現

Point. アルミニウム×真鍮の本体軸

ピグマ®を入れても握りやすい細軸設計

キャップの天面には桜型の刻印入り

世界初！水性顔料サインペン PIGMA®

用途に合わせて選べるペン先

小売価格 ¥220 (本体価格 ¥200)

ピグマ 03 細かいところに 手帳・ノートに書く

ピグマ 1 はっきり見やすく メモに書く

ピグマ FINE とめ・はね・はらいで美文字に ハガキに書く

株式会社サクラクレパス https://www.craypas.co.jp